

全体	14
個別	03-01

平成30年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

区分	項目	観光客の受入態勢の整備
1	【内容】 平成29年度に策定した対馬市観光基盤整備方針に基づき、トレッキングコースを優先順位が上位のものから実施します。	
組織目標	【指標】 白嶽ルートへの整備	
2	◆白嶽ルート整備 ・ルートマーク（登山用目印） 344枚設置 ・ルートマーク（登山用矢印） 37枚設置 ・分岐点案内板設置計画策定 7カ所	
実績（成果）		
3	△	白嶽登山ルートマーク（目印・矢印）等については、実績のとおり設置し、利用者の利便性向上と安全性を確保しましたが、案内板の設置工事は、実施できませんでした。
評価		
4		今後もその他の登山ルート整備については、利用者の利便性及び安全性の向上を図ることを目的に、案内板等設置計画や案内板設置に向けて取り組みます。
今後の展開		

全体	15
個別	03-02

平成30年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

区分	項目	地場産品の更なる消費拡大への取組み
1	【内容】 観光物産展等の開催や出展、福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、対馬の特産品の販路拡大及び対馬産品取扱店舗拡大に取り組みます。 情報発信の拠点である「よりあい処つしま」で、定期的な対馬フェアを開催し、集客・誘客、対馬特産品販路拡大を図ります。 「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業に取り組みます。	
組織目標	【指標】 ・物産展売上額 11,000千円 ・対馬食材フェア開催 4会場	
2	平成30年度は、主に福岡県内、大阪などで物産展を行い、売上合計は10,211千円でした。 「よりあい処つしま」では開店5周年を記念して穴子フェアを実施し、お越しいただいたお客様に対馬の特産品を提供し、認知度向上を図りました。また、「よりあい処つしま」として、RKBラジオまつりに初出展し、穴子弁当をメインに生ウニや蜂蜜等の特産品の売れ行きも好調で大盛況でした。 明治維新150年を記念した鳥栖市のイベントとコラボして、対馬食材フェアや物産展を5回実施し販路拡大を図りました。 海山交流イベントは、熊本県山江村と岐阜県中津川市と各1回交流事業を実施しました。	
実績（成果）		
3	○	指数については、物産展売上額は僅かに目標額に達しませんでした。13会場で開催し、対馬食材フェアに関しては43店舗で対馬食材を利用いただき、販路拡大及び認知度向上に繋がりました。
評価		
4	都市圏で物産展等を開催（出展）することで対馬の特産品の認知度向上を図るとともに販路拡大を行います。 よりあい処つしまの移転を転機として、取扱商品の充実と新たな販路拡大に取り組みます。	
今後の展開		

全体	16
個別	03-03

平成30年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

区分	項目	新規参入事業者の誘致と既存事業者への支援による商工業の活性化
1	【内容】 人口減少や少子高齢化、担い手不足、後継者不足などにより市内の商工業は低迷し続けています。一方で有効求人倍率の改善や外国人観光客の増加など、商工業の環境は悪い状況だけではありません。 現状の環境下において、商工業の活性化を推進するためにも、市内の商工業者が、観光客のみならず住民にとっての満足度を向上させ、事業承継や雇用条件の改善を図ることを推進します。	
組織目標	【指標】 ・対馬市商工業活性化推進事業補助金 採択件数 21件 ・商工業活性化協議 年10回以上 ・雇用条件改善策の策定 1件 ・制度融資の活用 年5件	
2	以下のとおり目標に対しての成果がありました。 ・対馬市商工業活性化推進事業補助金 採択件数 23件 ・商工業活性化協議（商工会、その他事業者） 10件以上 ・制度融資の活用 2件（新規）	
実績（成果）		
3	△	<ul style="list-style-type: none"> 対馬市商工業活性化推進事業補助金については、採択件数が23件となり、小規模事業者にとっては、良い結果となったと事業の1次審査者である対馬市商工会から評価を受けた結果となりました。設備投資については一定の目標を果たしたとして本事業は終了しました。 対馬市商工会とは、市の事業の推進について随時相談し、一方で、商工会の事業についての相談を受けることで、日々協議を行っています。 資金需要がある程度落ち着いたこともあり、制度融資については新規利用は低調に終わりました。 雇用条件の改善については、多くの被雇用者を抱える誘致企業に対馬の現状を相談し、見直し改善を図っています。
評価		
4	引き続き商工振興については、対馬市商工会との協議の中で進めて行きますが、設備投資の補助事業としては一旦終了します。今後は各店舗の魅力化についてはソフト事業の支援について研究を行い、商工会と効果的な振興策を検討していきたいと考えています。	
今後の展開		

全体	17
個別	03-04

平成30年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課 名	文化交流・自然共生課
-----	------------

区分	項 目	国際交流イベントや朝鮮通信使行列の世界記憶遺産登録を活用した交流人口拡大
1	【 内 容 】	<ul style="list-style-type: none"> ①対馬厳原港まつりにおける朝鮮通信使行列の再現、対馬アートファンタジアの開催支援を行い交流人口の拡大を行います。 ②日本遺産PRのための看板設置、パンフレットを作成します。 ③旅行社（者）へのマナー向上、ルール遵守の普及啓発を行い、市民の理解の促進を図ります。 ④朝鮮通信使を活用したまちづくり事業（イベント等）を実施します。
組織目標	【 指 標 】	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使行列再現への参加者数 300人 ・日本遺産PR用看板等設置 13カ所 ・添乗員、ガイド研修実施 ・朝鮮通信使によるまちづくり事業（通信使ロゴ・キャラクター作成、案内板設置、歴史マンガ、ユネスコ記憶遺産1周年記念事業） ・資料館建設に向けた基本設計書の作成
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使行列再現への参加者数 300人 ・日本遺産PR用看板等設置 13カ所 ・添乗員、ガイド研修実施 10名 ・朝鮮通信使によるまちづくり事業 通信使キャラクター(つしねこ)作成、PR用クリアファイルの作成（3,000部）、歴史マンガ(宗義真と対馬三聖人)、歴史講座年5回延べ150名、雨森芳洲生誕350周年事業11/24開催100名) ・ユネスコ記憶遺産登録PR事業 バスラッピング及び対馬やまねこ空港荷物レーンラッピング、うちわ2,000枚作成 ・資料館建設に向けての設計業務 建築設計：3月契約、展示設計：次年度5月契約予定
3	評価	<p>○</p> <p>韓国人観光客は年々増加し、平成30年は過去最高の約41万人を記録しました。 朝鮮通信使行列再現及び関連イベントは一定の集客等もあり交流人口拡大に繋がりました。 また、朝鮮通信使PRキャラクターも完成しました。 朝鮮通信使看板の設置及び資料館設計が繰越となりました。</p>
4	今後の展開	<p>今後は、添乗員、ガイド研修等で韓国旅行客のマナー向上に向けた、啓発活動の充実を図っていきます。また、世界記憶遺産登録を活かしたまちづくり「朝鮮通信使と言えば、対馬」のキャッチフレーズを基に朝鮮通信使によるまちづくり事業を推進いたします。</p>

全体	18
個別	03-05

平成30年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	文化交流・自然共生課
----	------------

区分	項目	ツシマヤマネコ・生物多様性保全活動の推進
1	【内容】	ツシマヤマネコ等希少種の保護・啓発活動を実施します。また、特定外来生物の市民参加型防除活動、調査を行います。
組織目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュによるツシマウラボシシジミ保全区域 1カ所 ・全国の動物園等における対馬の自然普及啓発事業 5カ所 ・市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罠設置 1,500カ所
2	実績（成果）	<p>全国のツシマヤマネコ飼育動物園等でツシマヤマネコ普及啓発イベントを実施しました。また、ツシマウラボシシジミの保全区域としてワイヤーメッシュ柵で囲った保護区を設置しました。</p> <p>外来種対策では、ツマアカスズメバチ防除活動への参加を市民に呼びかけ島内で広くトラップを設置しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツシマウラボシシジミ保全区域設置 3カ所 ・ツシマヤマネコ普及啓発イベント 4カ所開催 ・市民参加ツマアカスズメバチ女王蜂トラップ設置 1,384個
3	評価	<p>○</p> <p>ツシマヤマネコ普及啓発イベントを実施したことで、全国に広くツシマヤマネコと対馬の自然の魅力をPRし保護活動の輪を広げることができました。また、ツシマウラボシシジミ保護区を設置し食草・吸蜜植物等を植栽することで、好適な生息環境を整備することができました。</p> <p>特定外来生物ツマアカスズメバチの女王蜂を捕獲・駆除することで、夏以降に発生する巣を減らすことができました。</p>
4	今後の展開	<p>引き続きツシマヤマネコ啓発イベントを実施し、対馬の自然の魅力をPRすることで対馬ファンを増やし、保護活動の輪を広げていきます。</p> <p>また、外来種対策では環境省や研究機関と連携協力して、新たな防除手法の確立を目指し、効果的かつ順応的な防除を推進します。</p>

全体	19
個別	03-06

平成30年度 [観光交流商工部] 目標の成果

課名	博物館建設推進課
----	----------

区分	項目	対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用
1	【内容】 1 対馬博物館（仮称）施設の整備推進を行います。 2 対馬博物館（仮称）の開館を見据え、博物館の魅力を市内外へ発信します。 【指標】 1 ①博物館棟ゾーン建設工事の完成 ②展示工事の完成 ③交流棟ゾーン建設に向けた事務の実施 2 ①対馬市ホームページやfacebookを利用した情報の発信 ②博物館に関するシンポジウムの開催 2回/年	
2	実績（成果） 1 対馬博物館（仮称）施設の整備を推進し、博物館棟ゾーン建設工事及び展示工事等を実施しました。 ①博物館棟ゾーン建設工事：全体スケジュールに影響のない範囲で工期延長 ②展示工事：全体スケジュールに影響のない範囲で工期延長 ③交流棟ゾーン建設に向けた事務：着手事務を遂行 2 対馬博物館（仮称）の開館に向けて、建設工事や博物館の取り組みについて情報を発信しました。 ①facebookを利用した情報の発信：18回/年 ②博物館に関する講演会の開催：1回/年 来場者92人（2会場合計）	
3	評価 <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">△</div> 1 博物館棟ゾーン建設工事及び展示工事は、作業員確保に時間を要したため工期延長となりましたが、令和2年内には施設全体が完成する見込みです。 2 facebookや対馬市ホームページを活用することによって、市内外の多くの方々に工事の進捗状況を視覚的に伝えることができました。講演会は台風接近の影響により、1回のみで開催となりましたが、来場者には対馬の歴史や文化財に対する関心と理解を深めていただくことができました。	
4	今後の展開 ○博物館完成に向け、引き続き建設工事を進めていきます。 ○博物館開館を見据え、活動内容を具体的に決め、展示準備を進めていきます。 ○博物館開館準備のため、資料収蔵計画を策定して資料整理を実施します。 ○博物館周知のため、広報活動に一層努めます。	